

2026年6月24日

各位

会社名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 宮田 裕彦
(コード番号 6269 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部 (TEL. 03-5290-1240)

モザンビーク Coral Norte FLNG 向け SOFEC®係留システムを受注

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 社長執行役員:宮田 裕彦)は、モザンビーク沖で Eni 社とそのパートナー企業(CNPC^{*1}、ENH^{*2}、XRG^{*3}、KOGAS^{*4})が推進する Coral Norte FLNG(Floating LNG Production system:浮体式液化天然ガス生産設備)向けに、Technip Energies-JGC ジョイントベンチャーからの委託のもと、SOFEC®インターナルタレット係留システムを受注したことをお知らせします。

本プロジェクトは、2025年10月にFID(Final Investment Decision:最終投資決定)に到達し、サムスン重工業の巨済(Geogje)造船所(韓国)において2026年1月に船体の進水を完了、2028年のLNG生産開始を目標に着実に進捗しています。当社は全体工程に沿って本係留システムのプロジェクト遂行を進めており、この大規模ガス開発に貢献しています。

本プロジェクトは、当社が先に受注した姉妹プロジェクトである Coral Sul FLNG で実証された成果を踏まえ、得られた教訓を反映して効率・性能を高めた設計としています。複雑な洋上での係留システムでの当社の実績をさらに強化する案件であり、Coral Norte FLNG は年間約360万トンの(3.6 MTPA)の天然ガス液化能力を有します。

本係留システムは FLNG の中核となる設備であり、Rovuma Basin(ロブマ盆地)の気象・海象条件下で、風・波・潮流に応じた船体の回頭(ウェザーベーン)を可能にし、高い稼働率と安全・安定操業を支えます。当社は世界各地の FLNG/ FPSO で培った経験に基づき、先進的なエンジニアリング、盤石なリスク管理、厳格なプロジェクトマネジメントを通じて本プロジェクトを確実に遂行します。

当社 Mooring Solutions Business Unit(係留事業部門長)の Arun Duggal は次のように述べています。「Coral Norte は業界及びモザンビークにとって意義深いマイルストーンであり、この FLNG プロジェクトに貢献できることを光栄に思います。Coral Sul での当社チームの成果は、安全性、信頼性、スケジュール順守の高い基準を打ち立てました。本プロジェクトは、これまでに築いてきた信頼の表れであり、最高水準の運用性を実現する SOFEC®タレット係留システムを提供するとともに、現地能力の強化にも継続的に取り組み、同地域の将来案件に向けた基盤を築いていきます。」

Technip Energies-JGC ジョイントベンチャー の広報担当者は次のようにコメントしています。「MODEC が Coral Sul で果たした役割は、堅固な運用基盤を確立するとともに、エンジニアリングと実行における卓越性を明確に示しました。Coral Norte におけるパートナーシップはその成功を土台とし、モザンビークにおける持続可能な開発へのコミットメントを後押しするものです。」

*1 CNPC: China National Petroleum Corporation(中国石油天然気集団)

*2 ENH: Empresa Nacional de Hidrocarbonetos, E.P.(モザンビーク炭化水素公社)

*3 XRG: アブダビ国営石油会社の子会社

*4 KOGAS: Korea Gas Corporation(韓国ガス公社)



三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発(MODEC)は、海洋エネルギー分野における浮体式生産設備の提供で世界有数の企業です。FPSO(Floating Production, Storage & Offloading system:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)をはじめ、設計・調達・建造・据付(EPCI)サービスを提供するとともに、FPSOの保有・運転も行い、世界各地で総合的かつ競争力のある生産設備の提供と運転を担っています。SOFEC® Mooring SolutionsはMODECの製品ブランドであり、オフショアエネルギー分野に安全性・信頼性・革新性に優れた係留システムを提供しています。

<https://www.modec.com/jp>